

住民・事業者アンケート こども向けワークショップについて

令和7年度（2025年度）第1回
熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策協議会

令和7年（2025年）8月22日

住民・事業者アンケートの概要

調査名	熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策に関するアンケート調査
目 的	住民及び事業者の地球温暖化に対する意識や取組の現状を把握し、第2次実行計画の策定及び今後の施策検討に活用するため
対象者	【住民向け】 熊本連携中枢都市圏の23市町村から約1,300人ずつ 計約29,900人の住民（住民基本台帳より無作為に抽出） 【事業者向け】 熊本連携中枢都市圏の20市町村に所在する事業者から無作為に抽出した1,288事業所 （厚生年金保険・健康保険適用事業所のうち、従業員が5人以上の事業所に限る） ※調査時期時、南関町、長洲町、和水町は都市圏加入前のため、対象区域から除く。
調査方法	・住民及び事業者宛てに郵送で配布 ・住民はアンケート用紙を郵送もしくは用紙に記載のQRコードから回答 事業者は用紙に記載のQRコードから回答
調査時期	令和7年（2025年）1月～2月 ※南関町、長洲町、和水町の住民向けアンケートは7月に実施。
調査内容	参考資料1のとおり
回答結果	【住民向け】 配 布 数：29,874通 有効回答数： 9,139通（郵送7,227通、Web1,912通） 回 収 率：30.6% 【事業者向け】 配 布 数：1,275通 有効回答数： 275通 回 収 率：21.6% ※抽出リストに公共施設等が含まれており対象から除外したため、配布数が対象者数から減少した。

問2 地球温暖化問題に対するあなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。 ※N=9, 139

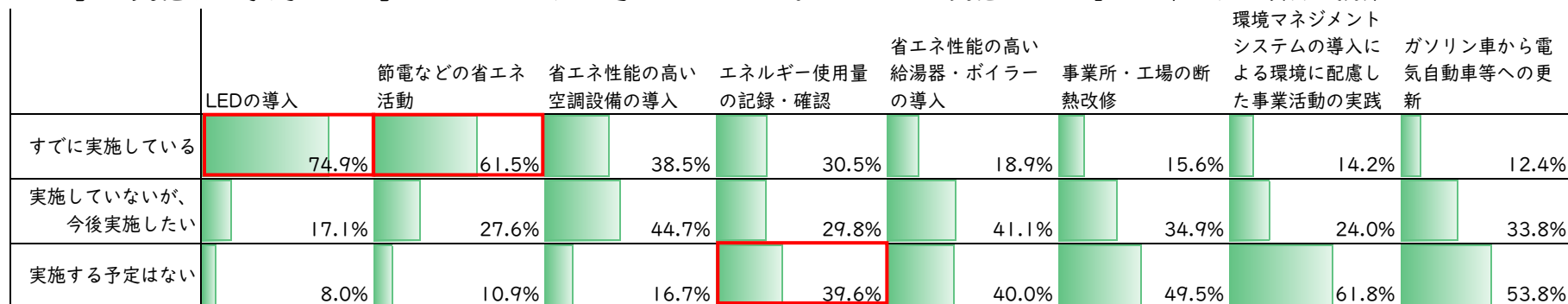
	自分の現在の生活様式を変えていかなければ解決できない	自分の現在の生活様式を変えなくても大丈夫	自分が行いなくても技術の進歩で解決できる	企業や行政が責任をもって取り組むべき	関心がない	これから考えてみたい	その他
10代	43.2%	3.7%	3.7%	27.2%	8.6%	11.1%	2.5%
20代	32.4%	5.7%	6.4%	31.2%	6.2%	14.9%	3.2%
30代	32.1%	5.5%	4.8%	31.0%	5.3%	15.2%	6.2%
40代	35.4%	4.2%	4.3%	33.7%	3.8%	11.8%	6.8%
50代	38.5%	4.7%	2.3%	36.4%	1.8%	8.7%	7.7%
60代	35.7%	5.2%	2.3%	40.1%	1.1%	7.8%	7.8%
70代	29.3%	6.6%	2.4%	45.1%	1.2%	5.6%	9.7%
80代	20.0%	8.6%	2.7%	44.0%	3.3%	8.8%	12.6%
90代以上	20.9%	9.8%	4.6%	39.2%	7.8%	4.6%	13.1%
計	32.4%	5.8%	3.0%	39.1%	2.5%	8.9%	8.3%

・「地球温暖化問題は企業や行政が責任をもって取り組むべきだと思う」の回答が約4割と最も多い。
→現計画に引き続き、企業及び行政が担うべき役割を明確に示し、推進する。

・次いで「自分の現在の生活様式を変えていかなければ解決できない」の回答が約3割。
→ライフステージに応じた情報発信や啓発を通じて、住民が自ら行動を起こす環境づくりを進める。

事業者アンケート結果（抜粋）

問１２ 地球温暖化対策に関する取組の状況について伺います。「すでに実施している」「実施していないが、今後実施したい」「実施する予定はない」のうち１つずつ選んでください。※「すでに実施している」の回答上位８項目を抜粋 ※N＝２７５

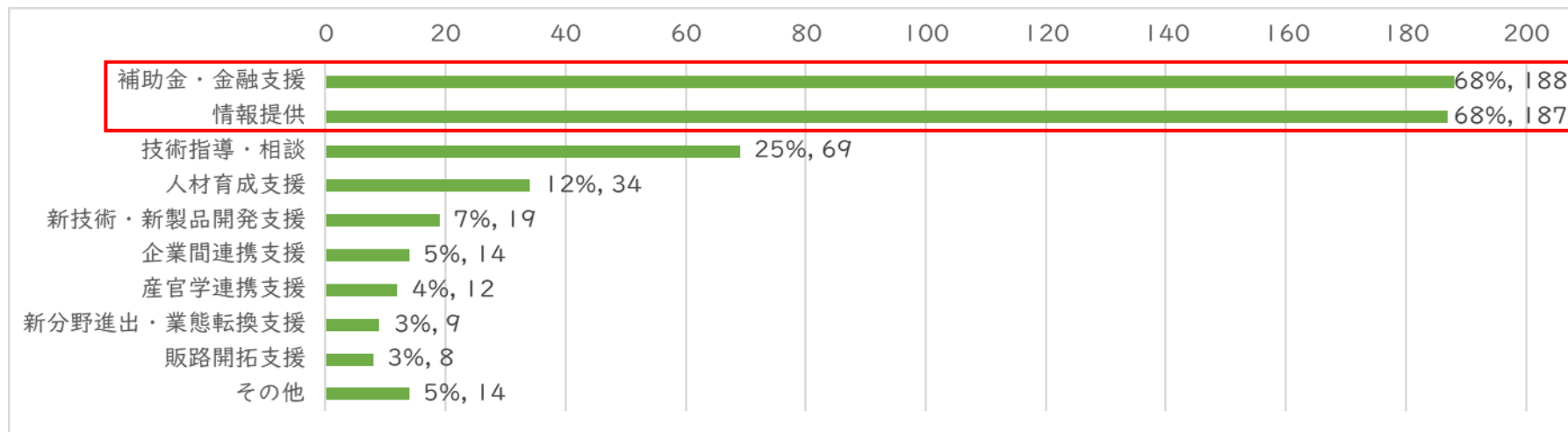


・すでに実施している取組については、「LEDの導入」が７割以上と最多、次いで「節電などの省エネ活動」が約６割。

・「エネルギー使用量の記録・確認」を「実施する予定はない」事業者が約４割。

→まずはエネルギー使用量の記録・確認を行うことが企業メリットに繋がることを周知するなど、効果的な対策を講じる。
 加えて、省エネ設備等の導入意識が低い傾向にあることから、国や自治体が行う補助制度の周知や金融機関等と連携した金融支援策などにより、設備導入を働きかける。

問１３ 地球温暖化対策に取り組む上で、今後、貴事業所において特に必要な行政機関からの支援は何ですか。（複数回答） ※N＝２７５



・「情報提供」、「補助金・金融支援」の支援について、３分の２以上の事業者から要望がある。

→金融機関等と連携した金融支援策や、事業者向け省エネ設備等を対象とした補助事業を検討する。

→継続的に、事業者が必要とする情報を提供する。

こども向けワークショップについて

実施目的

地球温暖化対策に係る現状の取組及び今後実施していくべき取組について、こどもたちが自分事として考え、環境意識の醸成と行動変容を促すことを目的とする。また、住民ができる緩和策の取組として、ワークショップで出たこどもの意見を記載する。

実施期間

令和7年（2025年）3月～7月

対象

荒尾市を除く熊本連携中枢都市圏23市町村の小学校、中学校、市立高校に通う児童及び生徒

実施内容

地球温暖化についての授業を行ったうえで、地球温暖化について自分たちができること等を考えてもらう。

※ワークショップの実施が困難な市町村においては、代替手法として地球温暖化について自分たちができること等についてアンケートを行い、回答を収集した。

（参考資料2を参照）

参加人数

【ワークショップ実施校数、参加人数】

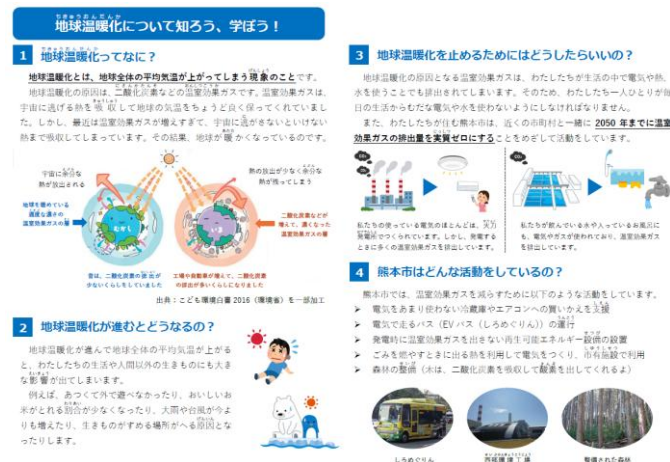
熊本市 小学校：3校 188人
中学校：2校 287人
高校：1校 13人
菊池市 小学校：1校 36人
宇土市 小学校：1校 12人
合志市 小学校：1校 18人
玉東町 中学校：1校 45人
御船町 小学校：1校 18人
益城町 小学校：1校 21人
甲佐町 中学校：1校 85人
山都町 小学校：3校 39人
計 16校 762人

【アンケート実施市町村、実施人数】

玉名市 (1校 35人)
山鹿市 (8校 326人)
菊池市 (9校 286人)
阿蘇市 (5校 182人)
美里町 (1校 31人)
南関町 (4校 52人)
長洲町 (4校 108人)
和水町 (2校 69人)
大津町 (7校 365人)
菊陽町 (1校 122人)
高森町 (2校 39人)
南阿蘇村 (3校 60人)
嘉島町 (1校 92人)

計 48校 1,767人

合計 64校 2,529人



5 電気や水を大切に使っている？○をつけてみよう！

みなさんは、毎日の生活の中で電気や水などを大切に使っていますか？
自分の毎日の行動を思いだして、あてはまるものに○をつけてみましょう。

番号	活動内容	よくしている	ときどきしている	ほとんどしていない
1	部屋を出るときは電気を消している			
2	テレビやゲームの電源を付けっぱなしにしない			
3	冷蔵庫に必要なものを取り出したらずくに閉めている			
4	エアコンをつけるときは、窓やカーテンをできるだけ閉めている			
5	ゴミをできるだけ出さないように気をつけている			
6	買いものに行くときは、エコバックを持っている			
7	水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないようにしている			
8	家族で出かけるときは電車やバス、自転車などを利用している			

6 地球温暖化が進むと、私たちの生活やほかの生きものにどんな影響があるかな？しらべて自由に書いてみよう！

7 温室効果ガスを出さないために、家や学校ではどんなことができるかな？3つ以上書いてみよう！

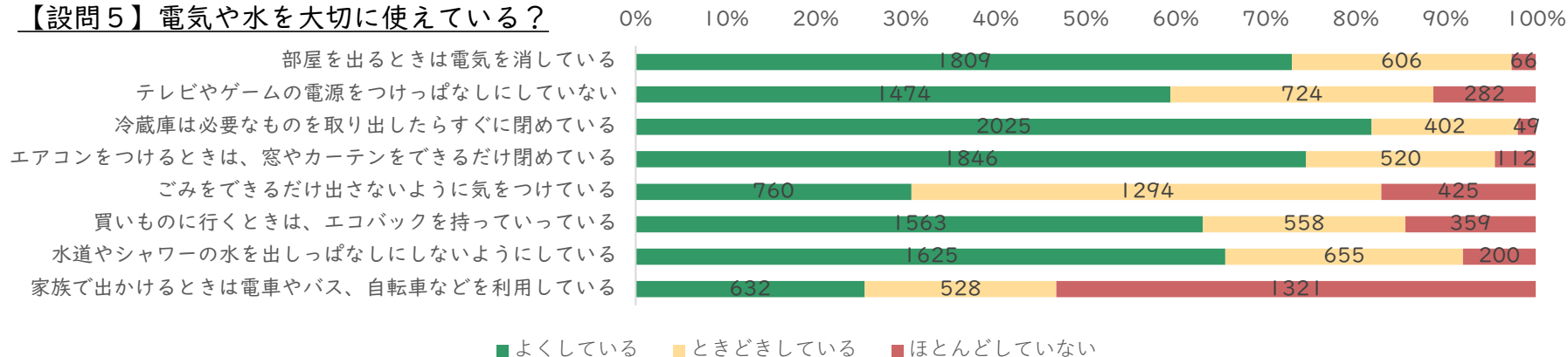
【例】テレビやゲームの電源を付けっぱなしにしない、
歯をみがくときはコップに水をためて、水を出しっぱなしにしない、
ものを大切に使用して、ゴミをへらす

8 みんなが大人になったとき、熊本市はどんなまちになってほしい？自由に書いてみよう！

【例】みんなが電気や水を大切に使うまち、太陽や風から電気をつくるまち、
水や緑がきれいなまち、電車やバスが便利なまち、ゴミの少ないまち

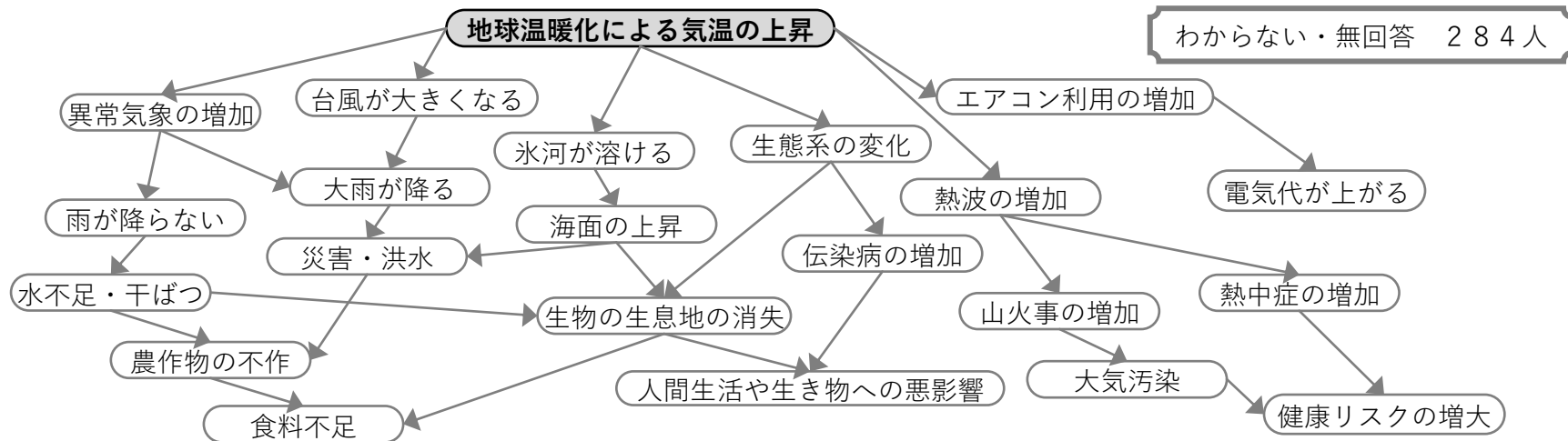
こども向けワークショップ結果（小学生・中学生）

【設問5】電気や水を大切に使えている？



- ・ 節水、節電に資する行動については、概ね6割以上が「よくしている」と回答。
- ・ ごみの削減については、他と比べ「よくしている」と回答した割合が低い。

【設問6】地球温暖化が進むと、身近なわたしたちの生活やほかの生きものにどんな影響がある？



- ・ 地球温暖化が進むことで、生活や生き物に様々な影響があることについて、こどもたちが学習することができた。
- ・ 1割強のこどもが「わからない」と回答した。
- ・ ワークショップに参加したこどもたちからは「わからない」の回答が見られなかったことから、ワークショップの実施により、こどもたちの意見を的確に引き出すことができた。

ワークショップで得られた成果

- ・節電など、すぐに取り組める地球温暖化対策については、多くのこどもたちが既に実践していることが確認できた。
- ・こどもたちは、地球温暖化の現状や生活への影響について学び、「できることから始めよう」という意識を共有することができた。
- ・都市圏が目指す方向性と一致する意見が多くみられた。

【設問7】温室効果ガスを出さないために、家や学校でどんなことができる？

〈節電・節ガス〉

- ・外が明るいときは、カーテンを開けて電気を消す
- ・冷房の温度を適切にする。
- ・うちわとか物を使って、涼しくする。
- ・暖房をつけずに服を着こむ。
- ・洗濯をするときは、まとめて洗濯をする。
- ・お風呂の蓋を閉める。

〈ごみ関係〉

- ・いらないものを買わない。
- ・エコバックとか持ってきてレジ袋とかを使わない。
- ・水筒（マイボトル）を持っていくこと
- ・マイ箸を使う。
- ・詰め替え用を買う。
- ・食べ物を大切にし、給食を残さず食べる。
- ・リデュース、リユース、リサイクル、リペアをする。

〈節水〉

- ・歯磨き、手洗い、洗顔、うがいは水を出しっぱなしにしない。
- ・頭や体を洗うときにシャワーを止める。
- ・洗濯をするとき、湯舟のお湯を使う。
- ・掃除をするときには、バケツに水を汲む。

〈その他〉

- ・植物を育てる。
- ・インターネットで調べるんじゃなくて、教科書などで調べる。
- ・紙の宿題をできるだけ減らして紙を使わないような宿題を出す。
- ・植物を植えて、緑を増やす。
- ・自転車で電気を貯めてみる。
- ・出かけるときは、徒歩や自転車で移動する。

【設問８】大人になったとき、どんなまちになってほしい？

〈住民・事業者・行政の取組〉

- ・電気や水を無駄遣いしない町
- ・ポイ捨てをしない町
- ・ごみは分別する町
- ・みんなが地球のことを思う町
- ・きれいな緑や自然がいっぱいな町
- ・太陽光発電を使う町

〈技術革新によるもの〉

- ・電気が無限な町
- ・二酸化炭素を減らせる機械がある町
- ・道路で発電できる町
- ・CO₂→O₂にする車がある町

〈最終的な理想像〉

- ・人や動物が元気な町
- ・みんなが電気や水を自由に使える町
- ・熱中症にあまりならない町
- ・地球温暖化がなくなり、SDGsが全部達成！
- ・安心・安全な町
- ・農業が盛んで、自然豊かなきれいな町
- ・こどもたちが笑って暮らせる町